

10 Jomon Times

vol. 140

広報 縄文村だより vol.140(10月号)

平成29年10月1日
●編集・発行●
奥松島縄文村歴史資料館
東松島市宮戸字里81-18
TEL 88-3927 FAX 88-3928



10月18日、縄文村は25周年を迎えます。

25th Anniversary



奥松島縄文村歴史資料館は、国史跡里浜貝塚から出土した資料の展示公開と調査研究を目的として、1992年10月18日にオープンしました。おかげさまで25周年を迎えます。里浜貝塚や縄文時代をさらに身近に感じてもらえるよう頑張ります。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

今年のおまつりは縄文村誕生日をお祝い♪ 奥松島縄文村まつり

10/22日 10:00▶15:00
入館・縄文体験無料
(一部有料の体験あり)

縄文村秋の一大イベント!縄文村の「いいとこどり」したおまつりです。

- ◆おなじみの♪/無料縄文体験
- ◆日本一を体感/里浜貝塚ぐるっとウォークラリー
- ◆いざ勝負!/火おこしNo.1決定戦!
- ◆小学生以下限定!/さかなつりゲーム(¥100)
- ◆カキ好きさん必見/縄文カキ剥き競争(¥300)
- ◆掘り出し物みつけ!/フリーマーケット
- ◆縄文を味わおう/縄文キッチン
- ◆おいしいもの集合♪/東松島旬の市 などなど...
- ◆縄文人に大変身!?!/縄文写真館

フリーマーケット出店者募集

「奥松島縄文村まつり」でフリマを出店していただける方を募集中です。いっしょにおまつりを盛り上げてみませんか?

■10月22日(日) 10:00~15:00 ■出店料無料 ■ブース3×4m
■芝生で行うので、前日または当日が雨の場合はフリマ中止 ■定員15ブース
申込・問 TEL 0225-88-3927 (水曜休館)

夏休み企画 おいでよ、縄文村へ! 8/11→15!

毎年恒例の夏休み企画「おいでよ、縄文村へ!」。今年は「宮戸夏まつり」コラボ企画と合わせ5日間行いました。期間中はのべ700人が体験を楽しみました。

11 宮戸夏まつりコラボ企画 入館&体験無料 DAY!

朝から雨模様の無料 DAY ながら、火おこしに挑戦する人がいっぱい!見事成功し、歓声があがる場面も。体験室ではモノ作りに熱中。



きれい!

12日限定だった「コハクのまがたま作り」。開始から続々とお申込みが!ピカピカの輝きは、滑石のまがたまとは一味違う魅力があるようです。

ピカピカの輝きに夢中♪
コハクのまがたま。

大人気♪ 入館&体験無料 DAY!

2度目の無料 DAY。開始の1時間前から、多くの家族連れでいっぱい!



大人だって
うれしい☆
火おこし大成功。

わあ!

シカの角
を削って
みたよ!

14・15日の限定メニューは「縄文写真館」。縄文服に身を包み記念撮影☆なりきってますね!
2日間で目撃された縄文人は40人以上...

縄文人多発!
写真館が大人気に。

もっと知りタイ! 地域おこし協力隊 〈第6回〉

■問 地域おこし協力隊事務局 復興政策課地域振興班 ☎内線1233

現在はインターネット上で野菜や加工品の販売、収穫体験なども行っています。地域の小学生たちが芋掘り体験を通じて農業について学ぶ機会を設けるなど、未来につながる活動で農業の活性化を目指しています。また、地域の魅力を伝える観光促進も視野に入れています。「よそ者だからこそ気付ける視点を最大限に活かして、地域に埋もれている誇りや魅力を広く発信していきたいです」と熱い思いを語っていました。

清水さんは牛網地区の農業生産法人「よつばファーム」で、地域おこし協力隊員として農業に関する業務に携わっています。パクチャーやミニトマトなどの農作物の栽培、それらを活かした加工品の製造などを通して、東松島市の魅力を内外に伝えていきます。「広い空と青い海、そして大地と、自然と共生する地域の素晴らしさを知ることができました」とこげやかです。埼玉県出身の清水さんは、以前は首都圏の旅行会社に勤務していました。平成27年に東松島市を訪れ、東日本大震災から復興へのあゆみを学びました。そこで出会った市職員との交流がきっかけとなり、住んでいた東松山市から移住を決意。地域おこし協力隊に参加することを決めました。「都会にはない、地域の人たちの温かさや距離の近さに触れています」と魅力を話します。友好都市である東松山市との交流も増えたことで、東松島だけでなく生まれ育った埼玉県の魅力にも気付けたと言います。

自然あふれる地域の魅力を発信

しみず かおる
清水薫さん(46)

農業

